

ホントにいいの？健康保険証廃止 ～ もう一度立ち止まって考えてみよう～

2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに保険証機能を持たせたマイナ保険証へ原則一本化することとなっています。
三重県保険医協会では、この間医療現場で生じているトラブルの実態を紹介し、現状のままでは国民皆保険制度が崩壊しかねないと廃止中止を強く訴えてきました。今回は、健康保険証が国民皆保険制度の中で果たしている役割や一体化による実情と問題点を「医療者」「介護者」「法律家」など、様々な立場から報告をいただき、再確認する機会として開催します。

WEB併用開催・要申込・参加無料

2024年**10月6日**（日）

13時開会～15時30分閉会（12時30分開場）

ホテルグリーンパーク津 伊勢・安濃の間 [WEB併用開催]

プログラム

13:00 開会・挨拶

13:05 特別講演「保険証廃止でみんな不便に！」
荻原博子氏（経済ジャーナリスト）

13:50 シンポジウム

報告1「マイナ保険証のトラブル：医療現場からの声」

宮崎智徳氏（三重県保険医協会会長／高茶屋診療所所長）

報告2「介護現場における問題点」

山口真弓氏（（株）ライフ・テクノサービス 施設事業部課長）

海野誠氏（社会福祉法人 敬峰会施設事業部課長）

報告3「法律上の問題点について」

森一恵氏（三重弁護士会前年度副会長/三重合同法律事務所）

ディスカッション

15:25 閉会挨拶

15:30 閉会

特別講演講師



経済ジャーナリスト
荻原博子氏

参加申し込みは
こちらから



ホントにいいの？健康保険証廃止

～ もう一度立ち止まって考えてみよう ～

【特別講演・荻原博子氏からのメッセージ】

10人に1人しか使わず、医療機関にも負担が大きい「マイナ保険証」。オンライン化できずに閉院する診療所も急増中。なぜ、これほどまで患者からも医療関係者からも喜ばれないものを、保険証を無くしてまで導入するのか。今の便利な日本の医療制度を、みんなの手で守りましょう！

【特別講演・荻原博子氏の略歴】

1954年生まれ。経済事務所勤務後。1982年からフリーの経済ジャーナリストとして、新聞・経済誌などに連載。難しい経済やお金の仕組みを、生活に根ざしてわかりやすく解説し、以降、経済だけでなくマネー分野の記事も数多く手がけ、ビジネスマンから主婦に至るまで幅広い層に支持されている。バブル崩壊直後からデフレの長期化を予想し、現金に徹した資産防衛、家計運営を提唱し続けている。新聞、雑誌等の連載やテレビのコメンテーターとしても活躍中。「マイナ保険証の罠」（文春新書）、「知らないと一生バカを見るマイナカードの大問題」（宝島新書）など著書多数。



【参加概要】

- 定員 200名（現地）
- どなたでも参加できます。
- 事前申し込みが必要です。
- WEB併用での開催となります。
- 参加される方は下記の「二次元コード」または「アドレス」の「参加申し込みフォーム」もしくは「FAX」を利用して、お名前と参加方法等をお知らせください。

<https://forms.gle/btZ2dDLGBzN9atBd7>

■ 個人情報の取り扱い…個人情報は三重県保険医協会が責任をもって厳重に管理いたします。この事業の目的以外は使用しません。



FAX : 059-225-1088 三重県保険医協会（栗原）行

※10/6（日）「ホントにいいの？健康保険証廃止」に

現地（___名）で参加する WEB（___名）で参加する

◆参加代表者名（_____）

◆電話番号（_____）

◆メールアドレス（_____@_____）